

職業能力評価基準(印刷業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模組織(部など)の責任者として、組織目標や生産計画を設定し、広範かつ統合的な判断及び意思決定を行いながら組織を統率するために必要な能力水準。 ・もしくは、 ・極めて高度なマーケティング能力を有し、印刷物・製品・サービスの高付加価値化の実現に貢献する能力水準。
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> ・中小規模組織(課など)の責任者として、上位方針を踏まえて組織の管理運営を行うために必要な能力水準。 ・もしくは、 ・高度なマーケティング能力を有し、印刷物・製品・サービスの高付加価値化の実現に貢献する能力水準。 ・もしくは、 ・ベテラン技能者として高度な技能を有し、高精度な作業を正確かつ効率的に行う。また、プリプレス～プレス、プレスからポストプレスなど、複数の工程にまたがる技能をもつ能力水準。
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。 <p>※製造職種(プリプレス・プレス・ポストプレス)については、機長・組長・主任等が務まるレベル。 〔おおむね技能検定1級程度の能力レベルに相当〕</p>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者として、上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準。 <p>※製造職種(プリプレス・プレス・ポストプレス)については、担当業務となる単一の職務を行うレベル。 〔おおむね技能検定2級程度の能力レベルに相当〕</p>

印刷業におけるキャリア形成の例

